

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)

【公開番号】特開 2004-41804 (P2004-41804A)
 【公開日】平成 16 年 2 月 12 日 (2004.2.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-006
 【出願番号】特願 2003-384674 (P2003-384674)
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 F 11/14

【F I】

A 4 1 D 21/00 A

A 4 1 D 21/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 2 月 13 日 (2004.2.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 端部と前記第 1 端部に対向する第 2 の端部とを有するバンドと、

前記バンドの第 1 端部に回転可能に連結され、折り畳み位置と展開位置との間で前記バンドに対して回転可能なイヤークップと、

第 1 部分と第 2 部分を有する固定手段であって、前記固定手段の第 1 部分が前記バンド上に配置され、前記固定手段の第 2 部分が前記イヤークップ上に配置され、前記イヤークップがその展開位置に配置されたときに、前記固定手段の第 1 部分が前記固定手段の第 2 部分と係合するよう構成された固定手段と、

前記バンドの少なくとも一部と前記イヤークップの少なくとも一部を被覆するように構成される布手段と、

を備える耳保温装置。

【請求項 2】

前記固定手段の第 2 部分が第 1 隆起と前記第 1 の隆起から間隔を置いて配置された第 2 隆起とを含み、前記イヤークップがその展開位置に配置されたときに、前記固定手段の第 1 部分が前記第 1 隆起と前記第 2 隆起との間に配置されるように構成される、請求項 1 に記載の耳保温装置。

【請求項 3】

前記イヤークップは耳カバー部と取付け部分とを含み、前記取付け部分は前記バンドの第 1 端部に連結し、前記固定手段の第 2 部分は前記イヤークップの取付け部分に配置される、請求項 1 に記載の耳保温装置。

【請求項 4】

前記イヤークップは耳カバー部と取付け部分とを含み、前記耳カバー部と前記取付け部分とは一体的に形成され、前記固定手段の第 2 部分は前記イヤークップの取付け部分に配置される、請求項 1 に記載の耳保温装置。

【請求項 5】

前記布手段は空洞部を形成し、前記バンドと前記イヤークップとは前記布手段の空洞部に配置される、請求項 1 に記載の耳保温装置。

【請求項 6】

前記イヤークップの少なくとも一部及び前記バンドの少なくとも一部を貫いて延在し、前記イヤークップを前記バンドに回転可能に連結させる軸部材をさらに備える、請求項1に記載の耳保温装置。